市民病院広報 第８号

竜んおとし子

－目　次－

●表紙　クリスマス会(中津良保育園の遊戯)・　1
●新春インタビュー・・・・・・・・・・・・・・2～3
●医師紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●へき地病院再生支援教育機構・・・・・・・・5
●年男・年女・・・・・・・・・・・・・・・・・6～7
●新型インフルエンザについて・・・・・・・・8～9
●禁煙のススメ・・・・・・・・・・・・・・・・10
●バレー愛好会・委員会紹介・・・・・・・・・11
●職場紹介・編集後記・・・・・・・・・・・・12

平成18年１月15日
発　行　平戸市民病院
平戸市草積町1158-1
ＴＥＬ　0950-28-1113
ＦＡＸ　0950-28-0800
http://www.city.hirado.nagasaki.jp/hospital/
編　集　広報委員会

新春インタビュー

院　長　押淵　徹
聞き手　広報編集委員

今年の病院としての目標は？

一つ目に、向う十年程度で医療の質・地域医療の水準を保つために、病院の改造・改革を行っていくこと。二つ目に、医療費の抑制や診療報酬の改定など、厳しい医療政策に直面していくが、それに応じた医療の方策を見つけ出し、政策をつくり出していくこと。三つ目に、私たちが提供している医療の質を、市民の皆様に十分理解してもらい、より良い医療を提供できるように、病院運営の質の向上を図ることです。

また、昨年十月に四市町村が合併し、新しい自治体ができましたが、この自治体の医療・保健・福祉事業の中核的な役割を担っていきたいと思います。

長崎大学のへき地病院再生支援教育機構の臨床教育拠点病院に選定を受け、今後どのように進めていくか？

へき地病院再生支援教育機構の目的は、一つ目に過疎地での医師不足を補うこと、二つ目に、全人的な医療を担える若い医師を育てることであります。振り返ってみると、戦後の日本の医学は、専門医を育てる教育を押し進めてきたため、『病気をみて人間を診ない』という医師が増えてきたので、これから来られる若い医師には、私たちがこれまで行ってきた「地域包括ケア」を学び実践していただきたいと思います。そして、チーム医療を担える医師を育てて全人的医療を実践していきたいと思っています。

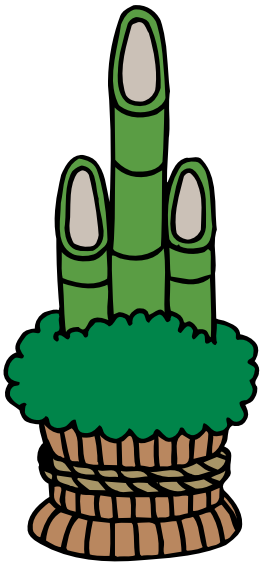
整形外科の医師常駐を望む声があるが、今後どのように考えているか？

昨年四月から整形外科医の大学からの派遣がなくなり、市民の皆様には、大変ご迷惑をおかけしています。

新研修医制度が設けられたため、医師を確保することは、まだまだ時間がかかると思います。

しかし、それを待つだけではなく、自治体病院開設者協議会や国診協等に求人広告を出す他、インターネットにホームページを開設し全国に宣伝を行い、整形外科医が来て頂けるように働きかけているところです。

現在、毎週水曜日に長崎労災病院から整形外科医に来ていただいている他、生月病院に赴任した整形外科医の応援も受けています。



今後、どのような病院像をめざしているか？

これまでに行ってきたサービスを続けていくことを大前提に、これからの厳しい医療情勢でも、運営していけるような病院をつくっていきたいと考えています。

また、合併により広い自治体となりましたが、この地域は医療の資源に恵まれない地域ですから、医療サービスの低下を来たさないよう、生月病院や大島、度島診療所と共存して、運営を行っていきたいと思っています。

はじめまして

市民の皆様お世話になります

①うまれ年②星座③座右の銘
④趣味

小児科
白　川　利　彦　医師
しらかわ　としひこ

①　ウサギ年
②　てんびん座
③　なし
④　ドライブ、体を動かすこと

平成十七年十二月から赴任して参りました。出身は多良見で、長崎大学を卒業後、長崎大学小児科に入局し、佐賀・島原・大村・佐世保をまわってきました。平戸に来たその日から、大変な寒さに驚き、身を縮めておりましたが、寒波到来が日本全国であることを知り安心いたしました。

まだ赴任して日は浅いですが、当院が本当に地域密着型であることを実感しております。少しでも貢献できていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

内　科
中　桶　了　太　医師
なかおけ　りょうた

①　未年
②　おうし座
③　長崎から世界へ
④　モーターサイクル、アイスホッケー

平成十七年十二月十九日からお世話になっております。長崎大学医学部歯学部附属病院、へき地病院再生支援・教育機構からの派遣です。ここに来る前は、平成十七年三月末までアメリカのセントルイスで研究をしておりました。その後、長崎大学医学部の第一内科で神経内科の勉強をしておりました。

私たちの仕事は、卒後三～四年目の医師に過疎地での医療と地域保健の経験を積んでもらうことを目標にしています。昨年末にカナダのへき地医療を視察しました。へき地での医療を経験した先生方のうち半数以上は、研修終了後もへき地医療に携わっているそうです。このような研修システムは、僻地に赴任希望する医師の数が増えることが期待できます。また、専門医をめざす先生方に過疎地の現場を経験していただくことで、将来、高度先端医療と地域医療との間に流れが出来るのではないかと期待しています。このように、地域医療と先端医療が結びつくことにより、患者様にとってよりよい一貫した医療になると信じております。今後やってくる新人医師の研修には、皆さんのご協力が必要です。どうぞよろしくお願いします。

市民病院で総合医の養成教育

「市民病院で地域医療の教育を受けた医師が、市民病院や各地の病院で診療する日がやってきます。」

このほど、平戸市民病院が長崎大学医学部の地域臨床教育拠点となりました。これは、長崎大学の「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」が文部科学省の選定を受けたことによるもので、昨年十一月に長崎大学医学部・歯学部附属病院内に、へき地病院再生支援・教育機構（機構長・調漸長崎大学教授）が設置され、市民病院が同機構の教育拠点となったものです。

昨年十二月十九日には、白濱市長や長崎大学の関係者が出席し、市民病院で教育拠点の看板を掲げる「上掲式」が行われました。拠点病院に選定されたことにより、市民病院には、本年度から平成十九年度までの三年間、全国から募集する後期研修医（医学部を卒業して三年、四年目の若手医師）二名と講師・助手等の教官が大学から派遣され、当院での診療の他、当院を拠点として、併設の保健センターで実施される健康教育や健康診査等にもスタッフとして参加する他、生月病院や市内の診療所等、近隣の保健・医療・福祉関係機関との連携を深めながら、総合医の養成をめざした地域医療教育が進められることになっています。

医療過疎地から「日本流総合医」を創出

テレビ会議システムデモの風景

長崎県北地域は、人口十万人あたりの医師数が百二十人と、長崎県平均（二四七・四人）の半数にも満たないなど、県内で最も医師数が少い地域で、県北医療過疎地域と呼ばれています。

こうした医師数の少い地域に大学医学教育の拠点をおき、地域医療の再生を通して、日本流総合医(保健・予防医学・福祉に精通し、患者を社会の中で診ることのできる総合医)の育成を図るものです。

市民病院での研修は、地域包括医療や総合内科研修を中心に、小児科や外科、在宅医療、健診等、病院内や地域に出向いての総合的な研修が行われます。

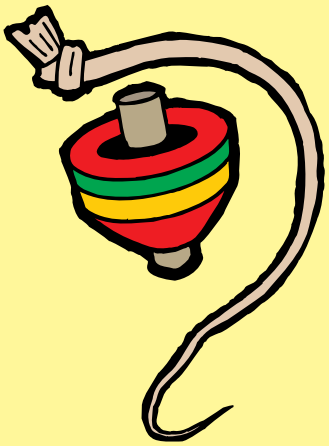
今回、長崎大学が進める地域医療再生の構想は、全国初の事業で、文部科学省では、今回の事業の成果をみて、将来的には、全国の大学病院に広げていきたいと話しています。

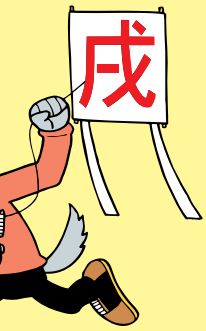
今後の医師確保に期待

市民病院では、これまで医師不足に悩まされてきましたが、大学の教育拠点となり、医師不足が解消され、充実した診療ができることになります。また、大学と連携することにより、より高度な医療サービスや専門外来等、地域住民への診療サービスの向上が期待されます。

また、将来当院で学んだ医師が、離島やへき地の医療に理解と関心をもち定着することにより、医療過疎地である県北地域の医師不足の解消につながると、関係者は、この事業に大きな期待を寄せています。

年男年女　戌年





美野田　はるよ

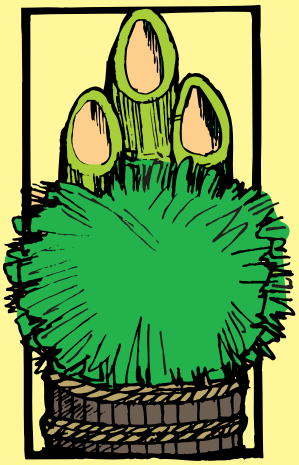
自己の健康管理をし日々笑顔で過ごせる様に努めます。

小田　榮子

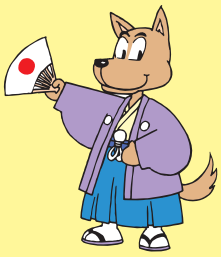
前向きに、自分らしく、たくましく、人生を楽しく頑張って生きていきたいと思います。

墨屋　敬絵

2006年、元気に思いやりと優しい笑顔で頑張ります!!



福をよぶ♪♪



久保川　智美

健康で明るく笑顔で１年を過ごしていきたいです。去年から始めたバドミントンも頑張ります。

掛屋　美治

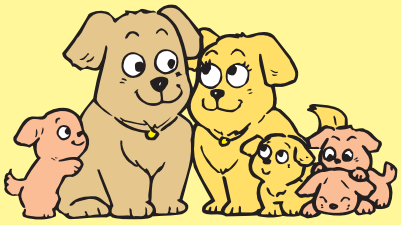
今年も笑顔を忘れず充実した１年になるよう努力したいと思います。
今年もどうぞよろしくお願いします。

藤田　秀子

常に笑顔を忘れずに
やさしく親切をモットーに

里崎　明子

明けましておめでとうございます。
今年の目標は“努力”です。それと、“笑顔”の多い年にしたいと思います。



新型インフルエンザについて

冬になるとインフルエンザが流行します。瞬く間に広がり、数か月で治まりますが、その原因は**インフルエンザウィルス**です。ヒトに感染すると、突然の高熱、悪寒、全身の倦怠感などの症状がでます。さらに**新型インフルエンザ**が登場すると爆発的に流行し、肺炎、気管支炎などを併発し多くの犠牲者を伴います。

近年、今までヒトに感染していなかった鳥インフルエンザが世界各国で流行しており、東南アジアや中国で、トリからヒトへの感染が確認され、平成十七年十二月二十三日ＷＨＯ発表で七十三人の死者が報告されています。

今のところ鳥インフルエンザのヒトからヒトへの感染は確認されてませんが、いつ新型ヒト鳥インフルエンザが発生してもおかしくない状態まできていると言われており、今回新型インフルエンザについて質問形式で報告します。

新型インフルエンザとは？

現在流行中のＡソ連型（Ｈ１Ｎ１）とＡ香港型（Ｈ３Ｎ２）は、ウィルス表面を少しずつ変えながら流行しています。変化が少なければ以前かかった時の免疫や予防接種の効果が期待できますが、大きく変化したときは効果が期待できません。この大きな変化で出現するインフルエンザを新型インフルエンザといいます。

今までに新型インフルエンザの発生は？

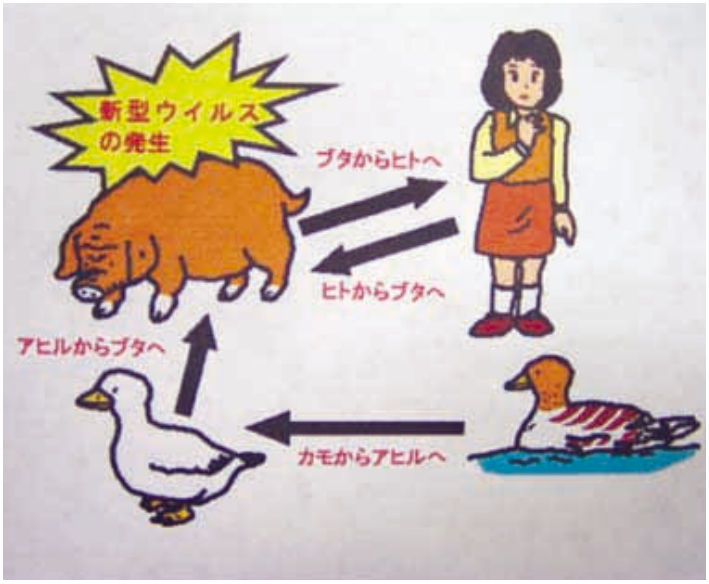
一九一八年　スペインインフルエンザ
一九五七年　アジアインフルエンザ
一九六八年　香港インフルエンザ
一九七七年　ソ連インフルエンザ

と四回、新型インフルエンザの出現があり多くの人が亡くなりました。

Ａ型インフルエンザは、十～四十年の周期で大きく変化し、世界的な大流行をもたらしています。最後のＡソ連インフルエンザからすでに三十年近く経過をしてる上、ウィルスの変異も進んでいて、いつ新型インフルエンザが出現してもおかしくないといわれています。

どうして新型インフルエンザが発生するのですか？

インフルエンザウィルスは、原則的には動物種の壁を越えて感染することはありませんが、鳥だけは例外で、すべての型のインフルエンザをもっています。またブタはヒトと鳥の両者のウィルスに感染することができます。ヒトと鳥のウィルスが同時にブタに感染することで、ブタの体内でウィルス遺伝子の組み換えが生じて、全く新しい新型のインフルエンザウィルスが出現すると考えられています。



どうして新型インフルエンザの出現が心配されるようになったのですか？

二〇〇三年以降、東南アジアなどで、通常ヒトに感染することがなかった鳥インフルエンザウィルスがヒトに感染し、死者がでています。

現時点では、鳥インフルエンザがトリからヒトにまれに感染している状態ですが、このような状態が続けばヒトからヒトへと感染するウィルスに性質が変わり、世界的な流行につながると懸念されています。

なお、日本では、日常生活のなかでは鳥インフルエンザに感染したトリと、濃厚に接触しなければ感染することはまずありません。

新型インフルエンザは発生しているのですか？

鳥インフルエンザウィルスのヒトへの感染により新型ウィルスの発生の可能性は高まってきていますが、発生はしていません。鳥インフルエンザウィルスのトリからヒトへの感染を防ぐことが、新型インフルエンザウィルスの出現を防ぐことにつながります。

新型インフルエンザが心配ですがどうすれば良いですか？

現在のところ、鳥インフルエンザウィルスの性質が変わって、新型インフルエンザウィルスになると考えられているので、鳥インフルエンザウィルスに感染した病気の鳥と接触しないようにすることが重要です。また、鳥インフルエンザが流行している地域への旅行や滞在において、鳥などの動物と接触を避けることも重要です。

新型インフルエンザにかかるとどんな症状がでますか？

まだ出現していない状態で予測することは困難ですが、懸念されている鳥インフルエンザの症状は、これまでの事例で発熱、咳などの症状に加え、六〇％以上で下痢が認められています。また、結膜炎、呼吸器症状や多臓器不全(複数の臓器が機能不全になる状態)に至る重症なものまで、様々な症状がみられており、死亡した主な原因は肺炎でした。

現在実施されている予防接種は、新型インフルエンザウィルスに有効ですか？

現在行われているインフルエンザの予防接種は、すでにヒトに感染しているインフルエンザには効果がありますが、新型インフルエンザには効果がないと考えられます。

新型インフルエンザの予防方法は何ですか？

インフルエンザは、感染したヒトの咳やくしゃみで放出されたウィルスから感染すると言われています。そのため、手洗いとうがいをしっかりする。マスクを着用する。人ごみや流行地を避けるなどの基本的な予防策をしっかり行うことが大切です。

また、十分に休養をとったり、バランスよく栄養をとったりするなどして、体力や抵抗力を高めることも大切です。

川柳で学ぶタバコのおそろしさ（三）

川柳で学ぶシリーズ
３回目です

肺がんなら タバコにかなわぬ アスベスト

「喫煙者の肺がんの危険度は非喫煙者の十五～三十倍で、肺がん発生にたばこが関与している割合（寄与率）は、九〇％以上になります。

最近、大きな社会問題となっているアスベスト（石綿）。中皮腫との因果関係は明白ですが、当時の男性の喫煙率は八〇％近くあり、ほとんどの人が喫煙していたため、肺がんとアスベストの関連をうんぬんするのは難しい。

肺がん危険度は、喫煙だけで十倍だが、喫煙とアスベスト労働の両方では五十倍となっています。こと肺がんについて言うならば、アスベストよりもたばこがけた違いに原因として大きいのです。

タバコ吸う 時間も場所も 税金だ

官公庁を分煙・禁煙化しようとすると、職員から、喫煙する場所が遠くなって、仕事の能率が落ちるので、喫煙所を各階に作れなどと要求が出ることがあります。来訪者のサービスという口実もつけますが、来訪者はたかだか一時間の在庁時間です。

タバコを吸う時間そのものがサボリです。サボるための時間と場所を税金で作るなどはとんでもないことです。

空気清浄機をリースで置いている官公庁もまだありますが、空気清浄機そのものが受動喫煙防止には無効なのです。つまり、官公庁は、税金を使って「健康増進法」に違反している「違法状態」を作っています

おそるべし タバコを吸っても 咳が出ぬ

気管の粘膜の表面には、細かい毛が生えていて、煙やごみなどの異物が毛に触れると、激しくせき込んで身体から異物を追い出す役割を持っています。

タバコを吸い始めてしばらくすると、このせき込みがなくなります。そのころの気管の細胞を顕微鏡で見ると、タバコの毒のために、この細かい毛がはげ落ちています。

こうなると、煙やタールは肺の奥まで素通りです。タールは、長い年月の間に、遺伝子の変異を起こし、肺ガンを作り出してきます。

「タバコを吸うのが堂に入った」、「これが大人だ」なんてのんきな話ではないのです。実に恐ろしいことなのです。

ソフトボール、
バドミントンに続いて
市民病院バレーボール
愛好会発足

委員会活動紹介

褥瘡対策委員会

褥瘡とは「床ずれ」のことを言います。褥瘡は短時間（２時間）で発生します。治るのには時間を要しますし、患者様の苦痛もともないます。

委員会は平成14年に発足し、褥瘡の予防・治療に取り組んでいます。委員は医師を委員長とし、様々な職種から構成されています。

活動は、褥瘡の勉強会への参加と月２回の病棟回診、また毎月1回委員会などを開いています。そのなかで褥瘡発生の状況報告を行い、発生の予防や治療、悪化防止の対策について検討を行っています。

委員会は、発足４年目を迎えます。褥瘡の発生は、様々な原因での発生が考えられ、その対応も、患者様にあった対策ができるよう努力しています。少しでも患者様のお役に立てるよう、スタッフ一同今後も努力していきたいと思います。

※「床ずれ」について質問などがあればお尋ねください。

市民病院バレーボール部紹介

昨年11月３日に行われた病院対抗ソフトボール県大会での市民病院ソフトチームの頑張っている姿を見て、ハラハラドキドキ、嬉しかったり、悔しかったり、そしてチームワークや一生懸命頑張ることの大切さを再認識させてくれました。試合後の打上げで持ち上がったバレー部結成の話。人数が集まるか不安でしたが、34人の方の賛同を得て発足しました。

入部の動機は、それぞれストレス発散やダイエットなど様々。

初練習は、地元バレーボールチームの皆さんの協力もあり、病院メンバーは18人ほどでしたがかなりの盛り上がりでした。

これから練習に励み、地域との交流を深めて参りますので、よろしくお願いいたします。

職場紹介

透析室

透析室は、４名の専属スタッフと３名の応援スタツフが交代で勤務しています。透析患者様は、週３回、１日３～４時間の透析を受けられます。４時間の治療が、あっ!という間に終わるように、笑い話を交えた世間話やスタッフの笑顔と笑い声で接しています。たくさんの観葉植物も花を咲かせました。葉から発芽させ育てた“ハッピー”という名の可愛い花も、２年ぶりに開花し心和ませています。皆さんにも今年１年ハッピーをおすそ分けしたいので、いちど見に来てください。

リハビリ室

リハビリテーション科は、理学療法士が３名、作業療法士が１名、助手２名の計６名で、小さな子どもさんからお年寄りまで年齢層も幅広く、患者様の治療を行っています。また、外来・入院患者さんの治療だけでなく、訪問リハビリや転倒・骨折予防教室など、院外にも積極的に出かけ頑張っています。リハビリに関することで何かお困りなことがありましたら気軽にご相談ください。よろしくお願いします。

編集後記

新年の幕開けは、皆様いかがでしたでしょうか。デパートの初売りは好調な出足と報じられていましたが、天候の方は記録的な豪雪で、雪国の人たちは大変です。市民病院では、へき地病院再生支援・教育機構の教育拠点として指定を受け、新年から本格的に活動がなされます。本年も皆様から愛され親しまれる病院をめざして頑張ってまいります。よろしくお願いします。

種　岡